

架け橋だより

広島市乳幼児教育保育支援センター

こどもを受容することをベースに！

小学校1年生の学級開き！～広島市立基町小学校の1年生の先生にお聞きしました～



令和8年度の架け橋だよりでは、小学校生活を主体的に過ごす入学直後の1年生児童の様子や、そのために、小学校教諭が“何を大切に指導しているのか”といったことについて、お伝えできればと考えています。また、今年度は、広島市立基町小学校に協力していただき、入学直後から1年生の生活や学習の様子を、シリーズでお伝えしてまいりますので、架け橋期の取組の参考にいただければ幸いです。

～入学式翌日の1年生の担任の様子（一場面）を紹介～



□笑顔で児童を迎え、登校してくる新1年生の児童と穏やかに挨拶を交わしながら教室へ向かう。



□児童と一緒に、文具や教科書など、児童の持ち物に名前が記入してあるのかを丁寧に確認する。



□荷物やランドセルを机やロッカーに入れることが難しい児童には、他の児童と協力するよう伝えたり、必要に応じて、手順を丁寧に伝えながらサポートしたりする。



□楽しい雰囲気の中で、チャイムの意味や、机、椅子の使い方など、小学校での過ごし方を少しずつ、そして無理なく児童に伝える。



□一人一人の児童の表情をよく見ながら、朗らかな表情で出席確認及び健康観察を行う。



□下校時、放課後児童クラブへ向かう児童と楽しく話しながら、児童を安全に送り届ける。

学級開きを終えた先生にインタビュー♪

先生=1年生の担任、センター=センター職員

■ 児童、保護者、担任を含むみんなの安心づくり

センター 入学式の翌日の授業、お疲れになったのではないのでしょうか。そして、このようなお忙しい時に、取材を引き受けていただき、本当にありがとうございます。

先生 いえいえ、少しでも何かの役に立てるのなら、嬉しいです。

センター 本日は、新1年生を担当する先生のお考えなどについて、お話を聞かせていただければと思います。

先生 はい、わかりました。

センター 早速ですが、1年生を担当すると決まった時の心境はいかがでしたか。

先生 本校は、外国にルーツのある児童が多く在籍しており、新1年生もクラスの半数が、外国にルーツをもっていることが事前に分かっています。そのようなことを踏まえ、児童が安心して学校生活をスタートできるよう、何をしたらよいかを考えていました。

センター それで、何かよい考えが浮かびましたか。

先生 よかったのかは分かりませんが、児童の安心のためには、保護者の安心も重要だと思いました。そのため、入学式では、保護者への声かけを重視し、安心してもらえるようにしようと考えました。

センター 全ての保護者に対して声掛けをしたのですか。

先生 はい、もちろんです。

センター それはすごいですね。例えば、どのような場面で声掛けをしたのですか。

先生 入学式後、配付物の説明をする時間があります。その時間を使い、保護者の様子を見ながら、「大丈夫ですか。」「言葉が難しい部分はないですか。」など、どの国にルーツを持つ保護者の方であっても、安心してもらえるよう心掛け、積極的に声を掛けるようにしました。

センター なるほど、保護者の安心を支えることで、児童の安心につながろうとしたのですね。その他には何かありますか。

先生 これは、1年生を担当するに当たって考えたこととは違いますが、毎年、本小学校区では、幼保小連携推進委員会、園児と児童の交流、小学校から各園への聞き取りを行います。その都度、幼稚園や保育園の先生から、園児の話や山間かせてもらうことができます。それは、1年生を担当すると決まった時の安心材料になります。また、園の様子を聞くだけでなく、卒園児の様子を園の先生にお伝えすることもできています。

センター 1年生の担任にとって、安心材料があるというのは、大変、いいことですね。園の先生方も、卒園児の様子を聞くことができるので、嬉しいでしょうね。

先生 入学してくる児童について、年長の時の集団や一人一人のこどもの様子を園の先生方から事前に聞かせてもらうのですが、新1年生の姿は、本当に園から聞いたままの姿なので、とても助かっています。

センター なんだか、近隣の幼稚園や保育園ともいい連携ができているところがいいですね。

【休憩時間の担任と1年生児童】



■ 学校内の雰囲気の高さが重要

先生 その他にも、本校のいいところがあります。新1年生の児童に、よい影響を与えてくれているのは、異学年の児童です。1年生によく声をかけ、関わってくれます。だから、新1年生の児童が楽しく小学校生活をスタートできるようになります。

センター 入学直後は、6年生が1年生とよく関わってくれているイメージがあるのですが、この学校でもそうですか。

先生 確かにそういう学校も多いですが、本校では、6年生だけではなく、いろいろな学年の児童が1年生の児童に関わってくれます。そういった雰囲気も、1年生の児童の安心感につながっています。

センター 確かに、今日も休憩時間に2年生や3年生の児童が1年生の教室に顔を出しに来ていましたね。素敵な校内の雰囲気ですね。先生は、この学校で1年生を担当するのは何回目になりますか。

先生 3回目です。今日、2年生・3年生が顔を出してくれたのは、そういったこともあるからかもしれませんね。

■ 複数の幼稚園・保育園等から入学してくることを生かして

センター この小学校には、どのくらいの幼稚園や保育園等から児童が入学してくるのですか。

先生 今年は、6つの園等から入学しています。

センター 6つの園等からの入学となると、園の特色やこどもの経験なども多様になるとは思いますが、そのあたりのことはどのようにうけとめていましたか。

先生 とてもわくわくしました。

センター どういうことですか。

先生 異なる環境で育ち、小学校へ入学してくる児童は、育ちがそれぞれ異なり、得手不得手もあります。そういった児童が、学校生活の中で、互いに理解し合い、自己肯定感を育てながら成長する。そういった過程を児童と一緒に楽しめるのが、1年生の担任の面白さだと思っているので、わくわくします。

センター 児童が、多様な幼稚園や保育園等から入学してくると生活や学習の指導が大変ではないですか？

先生 2年生以上に比べると、確かに1年生では、最初、きめ細かな援助が必要な場面も多いので、大変という捉え方もあるのかもしれませんが。特に、一斉指導しなくてはいけないという視点が強くなりすぎると、そう感じるかもしれません。

■「まず私を好きになって（信頼して）もらえることが大事」

先生 一斉指導もちろん必要です。ただ、私は、担任も児童も人間なので、まずは、人間関係の構築が重要だと思います。特に1年生では、一人一人の児童と担任の人間関係が構築されると、児童が主体的に行動するようになったり、必要に応じて担任が指導することを児童が受け入れてくれるようになったりします。だから、私が児童と接する際には、とにかく私を好きになってもらうことを大切にしています。これは、児童からの信頼を得るために担任としてできることを考え、行動するという意味です。

センター 確かに、信頼関係はとても重要ですね。児童は、信頼できる先生であれば、話を聞こうと思えるし、何より安心できるから、いろいろなことに失敗を恐れず挑戦もできそうですね。

センター そういえば、先生が考え、行動されていることが児童に伝わっているかもしれません。今日、自由ノートに児童が好きな絵を描いているとき、2人の児童が先生の絵を描いていました。昨日入学した児童が担任の先生のことを絵に描いていたので、とても驚きましたよ。

【1年生児童が描いた担任の絵】



先生 えー、嬉しいです！

センター このことについては、今日、児童と関わる先生の姿を見ていて、納得できました。先生は、入学から二日目という短い時間にもかかわらず、児童一人一人の名前を呼びながら話すだけではなく、先生の後ろから声をかけてくる児童に対して名前を呼んで応じていたので、本当に驚きました。まるで、後ろの様子が見えているようでした。

先生 いえいえ、後ろは見えていないですよ。

センター それはそうですね。あ、すいません。まず、児童が先生を好きになってくれるように、そして、信頼してもらえるようにという話をしていましたね。

先生 はい、私の場合、特に年度初めには、何より児童一人一人との信頼関係の構築を重視します。そして、一人一人の児童との信頼関係が構築できたら、少しずつ、児童同士の力で関係づくりができるようにしていきたいと考えています。

センター よくわかりました。まずは、先生と児童が信頼関係を構築する。すると、児童が学校は安心できる場であることを認識する。そうならば、児童が自分らしさを発揮して様々なことに挑戦したり、クラスメイトと関わり合いながら学びを深めたりできるようになるということですね。とても興味深いです。これから、小学校における行事や学習など、学校生活が本格的に始まりますが、その都度、お話を聞かせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

先生 こちらこそよろしく申し上げます。いつでも取材にお越しください。

センター そういえば、給食は、いつからスタートするのですか。

先生 来週の火曜日からですよ。

センター その様子を取材させていただいてもいいですか。

先生 早速ですね！はい、わかりました。お待ちしております。

【下校する児童に手を振る近隣園の先生】



【下校コースに迎えに来た保護者と話す担任】



■ 次回は、初めての学校給食の様子をお届けいたします。